

青森大学 脳と健康科学研究センター

2017年5月1日 開設

青森大学 脳と健康科学研究センター

〒038-0003

青森市大字石江字高間109-1

☎ 017-752-6103

☎ 017-752-6104

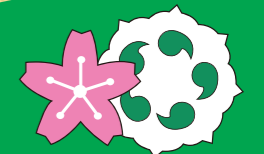
青森大学

〒030-0943

青森市幸畑2丁目3-1

☎ 017-738-2001 (代表)

☎ 017-738-0143



学校法人 青森山田学園



研究員・研究テーマ

スポーツ健康科学部門

スポーツによる健康増進について研究を進めていきます。

日浦 幹夫 脳神経外科専門医

スポーツ脳神経医学部門（脳神経外科）

スポーツ事故による脳震盪・外傷性脳損傷（TBI）、慢性外傷性脳症（CTE）への対策を中心に研究を進めていきます。

片山 容一 脳神経外科専門医

前田 剛 脳神経外科専門医
麻酔科専門医

福島 匡道 脳神経外科専門医

萩野 暁義 脳神経外科専門医

スポーツ神経生理学部門

スポーツによる脳機能の変化をとおした健康増進を中心に研究を進めていきます。

鎌田 恭輔 医学博士
脳神経外科専門医

リハビリテーション脳神経医学部門（リハビリテーション科）

リハビリテーションの効果と脳機能の変化との関係を分析し、その成果を健康増進に応用する研究を進めています。

安保 雅博 リハビリテーション科専門医

臨床薬学研究部門（青森大学薬学部）

臨床現場における、薬学にかかわる研究を進めていきます。

三浦 裕也 副センター長
薬学博士 青森大学薬学部長

水野 憲一 薬学博士
青森大学薬学科長

センター長挨拶



片山 容一

青森大学
脳と健康科学研究センター長

医療法人雄心会が目指しているのは、病気の診断・治療から社会復帰までを一つの流れとして、良質な医療を提供することです。青森新都市病院はそのための施設と設備を整えてまいりました。

また、健康の増進と病気の予防によって、この地域のみなさまの健康寿命を改善することにも取り組んでまいります。

健康とは、身体的にも、精神的にも、社会的にも、すべてが健やかで活気に満ちた状態のことです。この三つは脳の働きをもとにして相互に深く関連しています。

そこで青森大学と連携して、脳と健康科学研究センターを立ち上げ、医療と健康科学の融合拠点を目指します。

どうかご支援くださいますようお願いいたします。

開設にあたって

「健康とは、病気でないとか、衰弱していないとかというのではなく、身体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが健やかで活気に満ちた状態のことを示す(WHO憲章、1946年)。」健康科学とは、このことを踏まえて人類の福祉に貢献しようとする人間についての科学である。

一方人間は、身体のみならず、意志を持ち、社会を形成する。これら三者は相互に深く関係し、人間の脳が統合的に機能した結果をもたらされるものである。このように健康の増進には脳が大きな役割を果たしている。

青森大学脳と健康科学研究センター(脳研センター)は、青森大学がこれまで進めてきたスポーツ科学や健康科学に関する学術研究の実績を生かし、「脳を活かすことによって健康を増進し、健やかな超高齢社会を実現する」を目指す。その



ために、さまざまな脳疾患において脳の働きと健康指標との関係を研究する。青森大学脳研センターは、こうした研究を多面的に推進するとともに、子供の脳を育み、大人の脳を守ることを通じて、健康科学の研究を推進していく医療・健康科学の融合拠点となることを設立の趣旨とする。